

2024年度 第三回技術委員会 (合同委員会)

2024年10月29日 (火)

Web開催



主な内容

1. 2024年度技術委員会メンバー
2. 申請状況について
3. WG活動報告
4. その他

技術委員会メンバー

登録会社60社104+ α 名

株式会社オクト
光明理化学工業株式会社
株式会社JCVケンウッド
株式会社タニタ
中央自動車工業株式会社
東海電子株式会社
株式会社東洋マーク製作所
ドレーゲルジャパン株式会社
NISSHAエフアイエス株式会社
根本特殊化学 株式会社
株式会社パーマンコーポレーション
株式会社パイ・アール
フィガロ技研株式会社
前野技研工業株式会社
株式会社ヤナコ計測
アイグッツ株式会社
あすまる株式会社
エスケイジャパン株式会社
MIクリエーションズ株式会社

NCY株式会社
株式会社エフェクト(議事録担当)
株式会社オウルテック(次回:議事録担当)
株式会社オクト
株式会社オムニ
株式会社キングジム
株式会社グロックス
株式会社コムテック
株式会社コンテック
SANKEIプランニング株式会社
鈴与シンワート株式会社
SEIKOIST株式会社
センスエアエービー
(旭化成エレクトロニクス株式会社)
大自工業株式会社
株式会社天時情報システム
株式会社東京企画
株式会社東計電算
株式会社ドウシシャ
トライポッドワークス株式会社
株式会社ドリテック

日本鋭明技術株式会社
株式会社藤田電機製作所
株式会社ユアーショップ
株式会社ユビテック
株式会社ライノプロダクツ
株式会社レッツ・コーポレーション
新東工業株式会社
株式会社SREE
小林薬品株式会社
有限会社ドリームチーム
株式会社イズムシステムインテグレータ
TML株式会社
NHPソリューション株式会社
株式会社セイワ
株式会社ミツバサンコーワ
株式会社SGST
株式会社ファーストシステム
アイリスオーヤマ株式会社
株式会社高昇
エレコム株式会社
Dahua Technology Japan 合同会社

(2024/10/28 現在)

2024年度の取り組みについて

- 外部検定の運用対応
- JB20規格運用に向けた対応
- アルコールガスのトレーサビリティ調査
(ドライーウェットガスの相関関係等)
- 申請のワークフロー化対応

2024年度～2026年度の活動計画

項目	活動内容	2023年度				2024年度				2025年度				2026年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
①外部検定	JB0000X検定運用																
	JB1000X維持審査																
	JB1000X更新審査																
②規格WG活動	JB20001規格策定																
	CERIとの運用協議																
	CERIの設備整備																
	プレテスト																
	JB20001検定運用	×	×	×	×	×											
③ガスWG活動	Dry-WetGas相関評価/評価機関調査等					×	×										
	Wet試料液検討評価(ReCCS)			×	×	×	×										
④義歯安定剤WG活動	義歯安定剤連絡会対応	×		×	×	×	×										
⑤業務委員会とコラボ	申請ワークフロー化					×	×										
	調査内容の技術要件リンク					×											
⑥その他技術的対応	J-BACのHP等からの技術的相談対応																

■ 作業完了 ■ 作業予定
⊗ 作業追加 ⊗ 未実施

2024年度活動スケジュール

2024年度技術委員会開催日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術委員会	●4/24 第十回定期総会 (Web開催) 第一回			●7/30 (Web開催) 第二回			●10/29 (Web開催) 第三回				●2月 第四回	

●規格WG

5/17 第一回
7/22 第二回

●ガスWG

2023年～2024年度外部検定運用

2022年7月1日より新方式での検定運用開始

変更内容: 検定審査会での書類審査を外部機関(CERI様)へ移行

2024年4月以降の申請状況 **8月以降の申請状況**

4月～7月: 新規 5
維持 9
更新 16

8月: 新規 0 維持 2 更新 0
9月: 新規 0 維持 2 更新 1
10月: 新規 1 維持 3 更新 1
(11月: 新規 0 維持 2 更新 0)

⑥～⑧班

特班: 同一 0 OEM 0
仕様変更

⑨～⑫班 特別審査班
(仕様変更届対応)

今後とも検定審査会(班)の対応宜しくお願いいたします。

検定審査会グループ

登録会社47社

12グループを予定 申請会社以外に割り振る

①新コスモス電機株式会社(リーダー)

①アイグッツ株式会社

①株式会社アサヒ企画

①あすまる株式会社

②ドレーゲルジャパン株式会社(リーダー)

②MIクリエーションズ株式会社

②エスケイジャパン株式会社

②NCY株式会社

③株式会社パイ・アール(リーダー)

③株式会社エフェクト

③株式会社オウルテック

③株式会社オムニ

④株式会社タニタ(リーダー)

④株式会社キングジム

④株式会社グロックス

④株式会社コムテック

⑤フィガロ技研株式会社(リーダー)

⑤株式会社コンテック

⑤SANKEIプランニング株式会社

⑤株式会社サンクラウド

⑥中央自動車工業株式会(リーダー)

⑥鈴与シンワート株式会社

⑥SEIKOIST株式会社

⑥センスエアエービー

(旭化成エレクトロニクス株式会社)

検定審査会グループ

登録会社44社

12グループを予定 申請会社以外に割り振る

⑦前野技研工業株式会社(リーダー)

⑦大自工業株式会社

⑦株式会社天時情報システム

⑦株式会社東京企画

⑧株式会社パーマンコーポレーション(リーダー)

⑧株式会社東計電算

⑧株式会社ドウシシャ

⑨東海電子株式会社(リーダー)

⑨トライポッドワークス株式会社

⑨株式会社ドリテック

⑩株式会社東洋マーク製作所(リーダー)

⑩日本鋭明技術株式会社

⑩株式会社藤田電機製作所

⑪株式会社JVCケンウッド(リーダー)

⑪株式会社ユアーショップ

⑪株式会社ユビテック

⑫株式会社オクト(リーダー)

⑫株式会社ライノプロダクツ

⑫株式会社レッツ・コーポレーション

**OEM申請、同一機種申請、仕様変更届対応
特別検定審査班**

○光明理化学工業株式会社

○NISSHAエフアイエス株式会社

○根本特殊化学 株式会社

○株式会社ヤナコ計測

申請方法の確認・変更について

審査時の注意事項

- ・JB00003-2024 JB10003-2024版運用開始

2024年2月1日付にて検定制度の改版によりJ00003-2024およびJB10003-2024の運用が開始されました。

既に改版にて申請いただいておりますが、申請時にはホームページの会員専用ページより様式をダウンロードいただき提出願います。

特に維持審査の時に前回の様式を使用して申請される会員企業様がおりますので、ご注意願います。

申請方法の確認・変更について

維持審査で前回とは全く同じ対応とはならないことの認識願

特に今回も改版作業を実施しておりますが、申請内容に齟齬が出ないように、また、認定機器をよりよくし、エンドユーザー様が誤解なく安心してご使用していただけるように改定を行っております。

審査を行う外部機関(CERI)様でもより厳格・明確に審査を実施いただいておりますため、前回の審査時と全く同じになることは御座いません。

以上をご認識、ご理解いただき申請の対応をお願いいたします。

申請時の注意事項について

前回(7月)委員会にて「申請時の注意事項について」をご報告し、ホームページアップしておりますので、今一度よくご確認いただき、対応をお願いいたします。

その中でも現行も非常に多く出ている案件を再度ご説明いたします。

なお、監査の前に今一度、検定制度、別冊をしっかりと確認いただき、注意事項も熟知した上で監査の対応をお願いいたします。

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式2. 本編 第2. 2章 呼気アルコール検知器より

No.3) 購入後の使用回数と期間について説明しているか。

保証期間後の対処方法について説明されていること。

⇒ 幹事会の報告、対応にもありますが現在、不具合をはじめアフターフォローなどを含み、エンドユーザー様が混乱なく、安心して認定製品を使用していただくことが必要となっております。

外部機関様では申請の合否判定に関わる立場として、上記を重要と捉え、より厳しく確認をされております。

例) センサの有効期間の起点が統一されていない(購入後、使用開始後、製造日など)

連絡先が明確でない、どうなったら連絡すべきか明確でないなど
「買い替えをおすすめする」といった弱い表現など

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式2. 本編 第2. 2章 呼気アルコール検知器より

No.4) 使用環境、保管環境（屋内、屋外、寒い、暑い、温湿度等）の制限事項を説明しているか。温度範囲、湿度範囲（数値）が説明されていること。

⇒ （数値）の記載が必要になっております。

特に湿度範囲の数値が入っていないケースが多くなっております。

注：結露無き事などだけではNG

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式2. 本編 第2. 2章 呼気アルコール検知器より

No.5) 購入後の修理、メンテナンス、校正について説明しているか。

⇒ 幹事会の報告、対応にもありますが現在、不具合をはじめアフターフォローなどを含み、エンドユーザー様が混乱なく、安心して認定製品を使用していただくことが必要となっております。

外部機関様では申請の合否判定に関わる立場として、上記を重要と捉え、より厳しく確認をされております。

例) センサの有効期間の起点が統一されていない(購入後、使用開始後、製造日など)

連絡先が明確でない、どうなったら連絡すべきか明確でないなど

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式2. 本編 第2. 2章 呼気アルコール検知器より

No.7)呼気の吹きかけ方法および吹きかけの距離、時間などについて説明しているか。

⇒ 距離、時間の表記が不明確

少し、やや、適度になど定量的に示せていない

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式2. 本編 第2. 2章 呼気アルコール検知器より

No.8)呼気の測定道具（ストロー、マウスピース等）について説明しているか。

⇒ 測定道具の使用方法が明確でない

測定道具が複数あり、どれを使えば精度良く測れるか明確でない
市販のストローなども使用可となっているがその場合の使い方が明確でない

使用するストローなどのサイズが不明確（長さ、直径、素材など）
（直径においては内径、外形など含む）

申請時の注意事項について

維持監査、更新監査の注意事項（重点変更点）

様式3. 測定方法、測定間隔

- ⇒ 取扱説明書との不一致性を指摘
特に様式2. 7)、8)、11)の項目にて取扱説明書の記載内容と違った方法で様式3. に記載されている場合は指摘対象となります。

監査対応に関する注意事項

「様式2. ○品質保証体制について 本編 第2章 2.3品質保証体制に関する要件について No.1 該当機器の製造【最終試験(出荷)場所】」

に関して、別資料にて再度ご確認ください。

原則として上記項目には該当するすべての箇所を記載することが必須項目です。

記載されたサイトをもとに外部機関様と品質監査を行うサイト、抜き取りを行うサイトを協議していただきます。

特に抜き取りに関してはあくまで在庫品からランダムに抜き取ることが必須です。

規格WGについて

○ JB10整備、英文化およびJB20, JIS等対応

参加表明メンバー

旭化成エレクトロニクス: 吉田様、清山様

光明: 畑様(リーダー)

タニタ: 金成様

東海電子: 杉本様、高木様、植松様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

根本特殊化学: 三浦

フィガロ技研: 河口様

ヤナコ計測: 上西様

規格WGについて

2024年度第二回技術委員会にて

- JB20001 ・ 2024年8月中より運用開始へ
 - 規格WG残務 -
 - ・ パブコメ対応
 - ・ JB00004-2024及びJB20001-2024の提示
→ 終了後解散へ

以下は、別WG等にて対応

- JB10001 ・ NDIR仕様に対する規格対応、都度の規格修正検討等
- JIS・ISO化 ・ 他機関の調査検討

規格WGについて

JB00004-2024の改版内容

2.9 指摘および不合格時の対応について

○書面審査/現地審査

JB1000X-20XX、JB2000X-20XX共通

- 1) 外部機関の指摘に対して改善の余地がないと外部機関が判断した場合は不合格とする。再開する際には技術委員長まで再審査の申請を行う。
- 2) 外部機関の指摘の通知に対して返信が2ヶ月ない場合は、中断通知とともに一旦審査等を取り下げ処理し、不合格とする。
- 3) 維持監査、更新監査にて不合格となった場合は再開の意思表示があればその旨を技術委員長まで連絡、猶予期間(不合格報告書の日付からおおむね2ヶ月)のうちに合格することで不合格を免除する。ただし、再審査にかかる費用は負担すること。

規格WGについて

- JB00004-2024の改版内容

2.9 指摘および不合格時の対応について

○実機試験

JB1000X-20XXの場合

- 1) 不合格時の再試験については、全てやり直す。(申請企業再試験希望時)
- 2) 不合格後、再試験についての返信が2ヶ月ない場合は、中断通知とともに一旦審査等を取り下げ処理し、審査不合格とする。再開する際には技術委員長まで再申請を行う。

規格WGについて

JB00004-2024の改版内容

2.9 指摘および不合格時の対応について

○実機試験

JB2000X-20XXの場合

- 1) 不合格時の再試験については不合格項目のみ、やり直す。(申請企業希望時)
但し、再試験時に精度試験として一度に7台全数が合格することを必須とする。
- 2) 不合格後、再試験についての返信が2ヶ月ない場合は、中断通知とともに一旦審査等を取り下げ処理し、審査不合格とする。再開する際には技術委員長まで再申請を行う。
- 3) 各試験項目の内、不合格が発生した場合の処置に関しては次のとおりとする。
⇒外部機関より不合格になった項目でいったん中断するか、続行するか申請企業に通達
 - (a) 申請者が中止を希望する場合、その時点で試験を終了し、費用清算と共に、申請はクローズされる。
 - (b) 申請者が継続を希望する場合、1)に準じて最後まで試験を実施する。
ただし、費用は追加試験分を負担。またこの場合、一定期間(3ヶ月)以内に外部機関と日程調整し、外部機関が申請企業に訪問し、外部機関が7台の試料を抜取って再試験を行う。

規格WGについて

JB00004-2024の改版内容

2.9 指摘および不合格時の対応について

○実機試験

JB2000X-20XXの場合

- 4) 更新監査にて審査不合格となった場合は再開の意思表示があればその旨を技術委員長まで連絡、猶予期間(不合格報告書の日付からおおむね3ヶ月)のうちに合格することで不合格を免除する。ただし、再審査にかかる費用は負担すること。

※ 維持監査、更新監査にて猶予期間が経過し最終的に審査不合格となった場合の処置

- ・認定合格証の返還(企業対応)
 - ・アルコール検知器協議会ホームページの認定機器一覧からの削除(J-BAC対応)
 - ・該当機器に関わる全ての媒体から認証番号およびマークの削除(企業対応)
 - ・認証番号およびマークの付いた該当機器の製造禁止(不合格報告書の日付より:企業対応)
 - ・企業、販売店などの在庫品の扱いは協議会幹事会と協議の上、対応を決定
- 尚、本事項が速やかに遂行されない場合はアルコール検知器協議会会則に従う処置を受ける。

規格WGについて

- 7月31日 JB00004-2024の改版の幹事会承認依頼
 - 8月1日 三浦委員長より検定制度JB00004-2024改版、新規認定JB20001-2024申請開始の一斉メールにて案内
 - 8月2日 J-BACのHPに上記掲載
- 以上にて、JB20001に関する対応が終了
→ 規格WGを解散

規格WGについて

2019年に同WGへの募集を行い、ご賛同頂いたメンバーにて、

- JCCLS(ISO対応…2022年2月にお断り)
- JB20001規格作成(2024年8月より運用開始)
- JB10001規格対応(種々問題等の対応)
を行って参りました。

長らく、WGメンバーのご協力を頂き、大変ありがとうございました。

以下は、別WG等にて対応

- JB10, 20 ▪ 他仕様(NDIR等)に対する規格対応
- 都度の規格修正
- JIS・ISO化 ▪ 他機関の調査検討

アルコールガスのトレーサビリティ調査

○ ドライボンベガスとシミュレーター(ウェットガス)の相関関係調査

参加メンバー

光明理化学: 畑様

タニタ: 金成様

東海電子: 杉本様、高木様

NISSHAエフアイエス: 常深様、柳谷様

フィガロ技研: 河口様

根本特殊化学: 三浦

ヤナコ計測: 上西様(リーダー → 暫定で三浦へ変更)

旭化成エレクトロニクス: 吉田様、清山様

【課題事項】

- ・ウェットガスとドライガスの相関の確認方法の検討
- ・試験実施に向け試験を行っていただける企業の募集
- ・試験対応の為ドライガスの提供方法の検討

本年度は、改めて本試験にご参加していただける企業様を募りますので、その際は是非ともご協力願います。

その他

- 問い合わせ事項の対応は随時実施中
業務委員会 Web/IT班と連携
申請に関する対応(ワークフロー作成)を検討中
本日ご報告の「監査対応に関する注意事項」の掲載検討

- 質疑応答

その他

○ 認定品の調査検討

業務委員会 調査班と連携

認定品が正しく販売されているか調査対象を検討

本件と関連した案件として幹事会からご報告のありました「市場におけるアルコール検知器精度について」に関して、技術委員会としてCERI様へ試験依頼対応等を行います。

調査結果の対応は今後幹事会で協議いたします。

なお、本件に係る費用は技術委員会の活動費用といたしますのでご了承願います。(トータル73万円を計上予定)

その他

○委員会活動方針の変更について

幹事会のご報告にありました通り、2024年度を準備期間、2025年度4月から運用となります。

改めて幹事会よりご連絡、ご通達がありますが、委員会にご協力いただける企業様のご参加をお待ちしております。

また、合同委員会の廃止に伴い、定例の技術委員会（業務委員会と協議し、改めて定例の合同委員会にするか検討）を定例会議後に実施を検討いたします。

その際、現在行っております合同委員会と同等の報告を定例委員会で行います。（ただし、定例委員会への参加は委員会参画企業のみ）

その定例委員会の議事録はこれまで通り、HPへアップいたします。

今後の取り組みについて

1. 外部検定の運用の監視
2. JB10003 JB20001の運営対応
3. アルコールガスのトレーサビリティ調査の推進
4. 業務委員会様と連携
5. 今年度以降の活動計画の対応
6. その他HP等からの技術的相談対応

まとめ

幹事会からの報告もありました通り、現在市場での問題が多く発生しております。

認定機器に関しては市場での不具合がないように、また、エンドユーザーが混乱なく、安心して使用できる製品（および取扱説明書）の対応をお願いいたします。

今年度より、更新審査及びJB20の運用が始まっております。

今後ともご協力の程宜しくお願いいたします。